

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年11月7日
【会社名】	東邦化学工業株式会社
【英訳名】	TOHO CHEMICAL INDUSTRY COMPANY, LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中崎 龍雄
【本店の所在の場所】	東京都中央区明石町6番4号
【電話番号】	03(5550)3737
【事務連絡者氏名】	常務取締役経理本部長 井上 豊
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区明石町6番4号
【電話番号】	03(5550)3735
【事務連絡者氏名】	常務取締役経理本部長 井上 豊
【縦覧に供する場所】	東邦化学工業株式会社大阪支店 (大阪市中央区南船場1丁目17番9号) 東邦化学工業株式会社名古屋支店 (名古屋市中区錦1丁目10番27号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1．当該事象の発生年月日

平成28年10月26日（取締役会決議日）

2．当該事象の内容

当社及び連結子会社1社が加入する「日本界面活性剤工業厚生年金基金（以下、「同基金」という）」は、平成27年2月20日の代議員会において解散方針決議を行い解散申請の手続きを進めておりましたが、平成28年10月25日同基金の代議員会で特例解散の決議がなされ、近日中に関東信越厚生局に特例解散の申請を行うことになりました。

同基金の特例解散申請の認可予定日は、平成29年1月中としており、認可日時点の代行部分の積立不足額は現時点では確定されませんが、平成28年9月30日時点の合理的に算出された積立不足見込み額が明らかになりましたので、この積立不足見込み額にもとづく負担分を平成29年3月期第2四半期の特別損失として計上することといたしました。

3．当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成29年3月期第2四半期個別決算において4億69百万円を、連結決算において4億90百万円をそれぞれ「厚生年金基金解散損失引当金繰入額」として特別損失に計上いたします。

なお、実際の費用については、清算終了時点での基金の財政状態や利回りの変動等により増減することが予想されます。

以 上